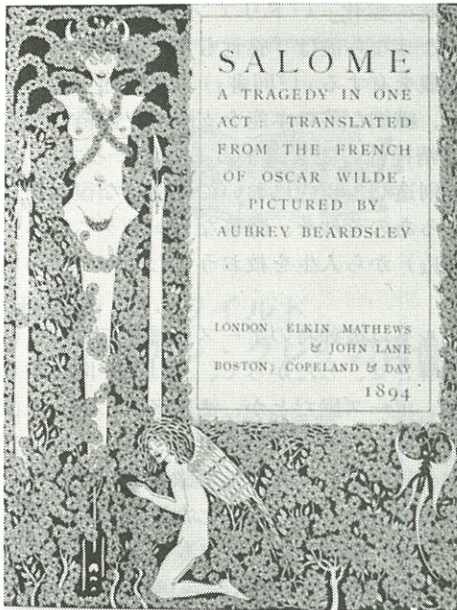
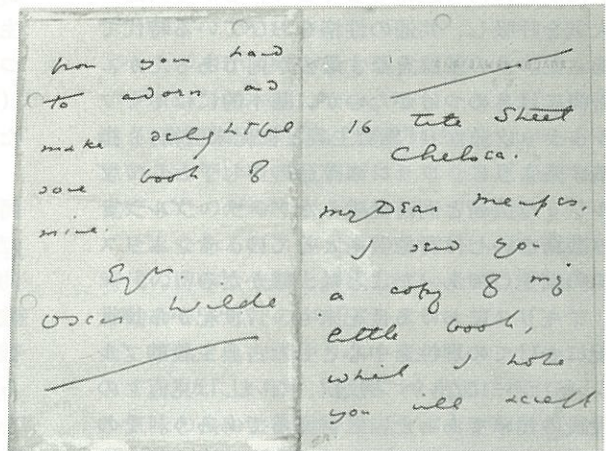


第 3 号

# Library Mate



ワイルド自筆書簡  
(4面) (1面)



## 本間久雄文庫

昭和3年の秋、滞英中の本間先生はロンドンの書店 Dulau & co. でワイルドの原稿、書簡、初版本その他ワイルド研究に関する多くの文献が売りに出されていることを知った。これらの文献はワイルドの親友で、その遺稿の管理人であった Robert Ross、ワイルド研究の第一人者 Stuart Mason、及びワイルドの第2子 Vyvyan Holland の所蔵品から選集したものでその数はおびただしいものであった。この多数の文献の中から当時先生にとって研究上不可欠と思われるものを数十種お買い求めになった。『英国近世唯美主義の研究』（東京堂 昭和9年刊）は、これらの文献に依ること極めて大きかったと先

生は後に記されている。本間先生が収集された明治の作家、一葉、漱石、鴎外等の真跡資料、いわゆる「本間コレクション」は昭和53年早稲田大学図書館に寄贈されたが、英米文学関係資料は小倉多加志先生のご尽力により昭和56年実践女子大学で譲り受けることが出来た。この中にはワイルド関係資料として貴重な Mason 等が編纂した新聞・雑誌初抜帖、Holland 氏から贈られたワイルドの髪の毛、ワイルドの自筆書簡などが含まれている。実践女子大学図書館の本間久雄文庫は、本間先生の旧蔵書をもとに、オスカー・ワイルドの著作およびその関係資料を収集しているものである。

## オスカー・ワイルドの赴くところ

英文学科教授 澤井 勇

《激動の世紀》と言われるわれわれの世紀も、最後の10年、つまり世紀末を目前にひかえて、前世紀末への思慕をいっそう募らせている様子があちこちに見受けられる。人は、一時代の終焉を迎えるころになると、おのずと前時代への懐旧に心が向かうものであろうか。

それにしてもヨーロッパにおける19世紀世紀末は、特異な時代であった。それは古代ギリシアにおけるペリクレスの時代や近世のルネッサンスとならんで、さまざまな知的、想像的活動がたがいに何の連絡もなくして、しかも共通の大気を呼吸し、共通の性格をおびている時代であった。その基盤をなすものが何であったか、一概にはきめつけがたいが、基本的にはホーフシュテッターが（『象徴主義と世紀末芸術』）指摘するように、フランス革命の申し子としてブルジョワ芸術と同時発生したアンチ・ブルジョワ芸術ないしは背徳芸術としての、サンボリスムの到達点であったことは、確かだろう。

イギリスにおける世紀末も、17世紀から18世紀にかけての理性を中心とした古典主義的ブルジョワジーにたいする反抗、ないしは見直しの最後の精華であった、と言えるであろう。その反抗、ないしは見直しとは、すなわちロマン主義であるが、現実に見えぬものの中に隠されているものを探り、時間的にも空間的にも遠いものにあこがれると同時に、理性に抗して人間の自然本能としての感性の復権を主張するものであった。したがって19世紀イギリスのロマン主義は総じて感覺的、特に視覚的であった。美しいものを見ることを通して真理をさぐり絶対的なものに触れようとしたロマン派の詩人たち、ラファエロ前派から本格的にはじまる文学と美術の深いかわり、そして爛熟したロマン主義の妖しいまでの官能性を見せつけた世紀末。

世紀末イギリスの寵児オスカー・ワイルドもまた——と言えば意外に思えようか——《感覺の復権》を、さらには《感覺の崇拜》を説いた人であった。若い友人との同性愛的関係、リアリズムに対する装飾的で技巧的な芸術の主張、

さらには個人と個性の強調など、ワイルドは、倒錯、人工性、そしてエゴイズムといった世紀末（＝デカダンス）の特徴をすべてそなえ、そこから『ドリアン・グレイの肖像画』や『サロメ』などの典型的な世紀末文学を生みだしたけれども、一貫してその根底に彼が意図したものは「感覺の靈化」（『ドリアン・グレイ』）であった。なぜなら彼は「感覺もまた啓示すべき靈的な秘儀を有する」（『同書』）ことを知っていて、感覺を、繊細な美の本能を支配的な性格とする新しい精神性の要素にすることによって、「人生を再創造し、現代において、奇妙な復活を見つつあるあの苛烈な、野暮なジュリタニズム」（『同書』）から人生を救おうとしたからであった。

ワイルドは彼独特のポーズと言動によって世間を誤解させ、したがって、人は彼を同性愛者だとか、ポーズ屋だとか、洒落者だとか、表面的にしか見ない傾向があるけれども、じつは、彼は内心においては大へんな求道者であった。彼はその本心を、獄中で記した手紙で語っている。「少年のころから、いつも、花の萼や曲線を描く貝殻の奥ふかく隠れている色を見たときなど、その対象の心髄そのものとのあいだに、微妙な交感になりたち、ぼくの本質はつねにこれ

*Punch's rejection of Oscar Wilde's poems.*



に感応したものだ。……しかも、いまこそは、この美しさがどんなに確かなものであっても、なおその陰になにか隠れた精霊があり、彩られた型や姿は、ただその精霊のよそおう形象にすぎないと思っている。この精霊こそはくが調和したいと願うものなのだ。」(『獄中記』)ここにいたっては、ワイルドが感覚と呼んでいるものは明らかに肉・心眼の視覚であるが、ワイルドがその感覚＝視覚の復権と崇拜を求めた最大の目的は、すなわち、美しいものを通して至上の存在に触れようとする事だったのである。キリストは何も教えないが、キリストの前

に出ると人は何かになるとして、キリストはまさに一個の芸術作品であると言っているのも、まさにこの意味においてなのである。

しかし、このようにして見ると、ワイルドはなんと仏教に近づいていることか。そこには、現実の世界を通して仏を冥想することを教える『観無量寿経』に通じるものがあり、さらには、マックス・ウエーバーによれば(『ヒンドゥー教と仏教』)、『サロメ』に見られる退廃的官能的な好色の描写には『方廣大莊嚴経』の仏母の美の描写に通じるものがあるという。だが、それを述べるには、もはや紙幅も尽きてしまった。



## オスカー・ワイルド 『ドリアン・グレイの肖像』

英文学科講師 三国 宣子

子供の頃から活字を読むのが好きで、高校時代にはことにそれがこうじて、トルストイやチェーホフ、トマス・マン、サルトルやカミュ、三島由紀夫や堀辰夫などの小説に夢中になって、よく徹夜をして授業に出ていました。そんな私でしたから自分は全くの“文学人間”だと思ひこみ、大学は迷うことなく文学部に入りましたが、そこは女子大の常として国文科と英文科の2コースしかなく、漠然と英文科を選択した私は、悶々とした学生時代を送るはめになりました。

大学の文学部は文学を“研究”するところであり、小説を楽しむことしか出来なかった雑な気質の私には、「英詩概論」だの「18世紀小説講読」だのと題された講義で、原詩や原典を数頁ずつ読んでゆく地道な作業は、かなり骨の折れることだったので。また20才そこそこの私にとっては、今まで愛読していた小説と比べると(それは今からふり返ると、広義の青春小説と呼べるものばかりでしたが)、教室で読まされるイギリス文学は、E・M・フォースターの

エッセイや小説など最も現代に近いものでも、“シブい”の一語につき、シェイクスピアの面白さは皆目わからず、文学の味読能力があると思ひこんでいた自己判断は、単なる思春期の錯覚だったのだろうかと思ひ日々でした。

そんなある日、他大学の仏文科へ行った高校時代の博学な先輩と雑談していた時、その先輩が勧めてくれたのが『ドリアン・グレイ』でした。泰然としたイギリス小説のイメージとは違って、“人”よりも“思弁”を前面に押し出し、小気味のよい芸術論や逆説をポンポンと打上げるワイルドの小説は、イギリス文学への私の食わず嫌いを大きく変えるきっかけとなりました。夏の盛り、奈良公園のベンチに座ってセミしぐれの中、夕方近くまでかかって一気に福田恒存訳の『ドリアン・グレイ』を読み通しましたが、その時私はすでに大学も四年目で、通常なら就職運動に奔走していなければならない時期でした。

以後、D・H・ロレンスやイヴリン・ウォー、ハクスレーなど、徐々に読書対象も広がっていきましたが、私の狭いちっぽけな体験から言えることは、ある国の文学に興味を抱いて研究するようにまでなるには、まず自分の感性に合った好きな作家を見つけることが一番効果的に思えるということで、その意味でワイルドの『ドリアン・グレイの肖像』は、私にとって懐しい思い出の一冊です。



## 《資料を探す》

図書館を利用する際に基礎となる資料の探し方について案内します。

図書館へ入って、自分の読みたい資料、必要とする資料を探し出す事は、利用し慣れている人にとって簡単ですが、初めての人や不慣れな人にとって、当館が開架式を採用していても難しい事だと思います。

確かに時間をかけ、隅から隅まで見て行けば探し出せない事はありません。但し、当館に所蔵しており、貸出しをしていなければという前提がつかます。もし利用中であれば不慣れな人はないとあきらめてしまうでしょう。そうならない為にも資料の探し方をマスターして下さい。どこの図書館でも基本は同じです。

### 1. 目録をひく

目録で資料を探す手がかりとなるものは著者

名、書名、分類です。大学図書館では1983年までに収集した資料は『実践女子大学図書館蔵書目録』に記載されていますからこの冊子体目録から探して下さい。1984年以降に収集した資料はカード目録から探して下さい。(図1参照)

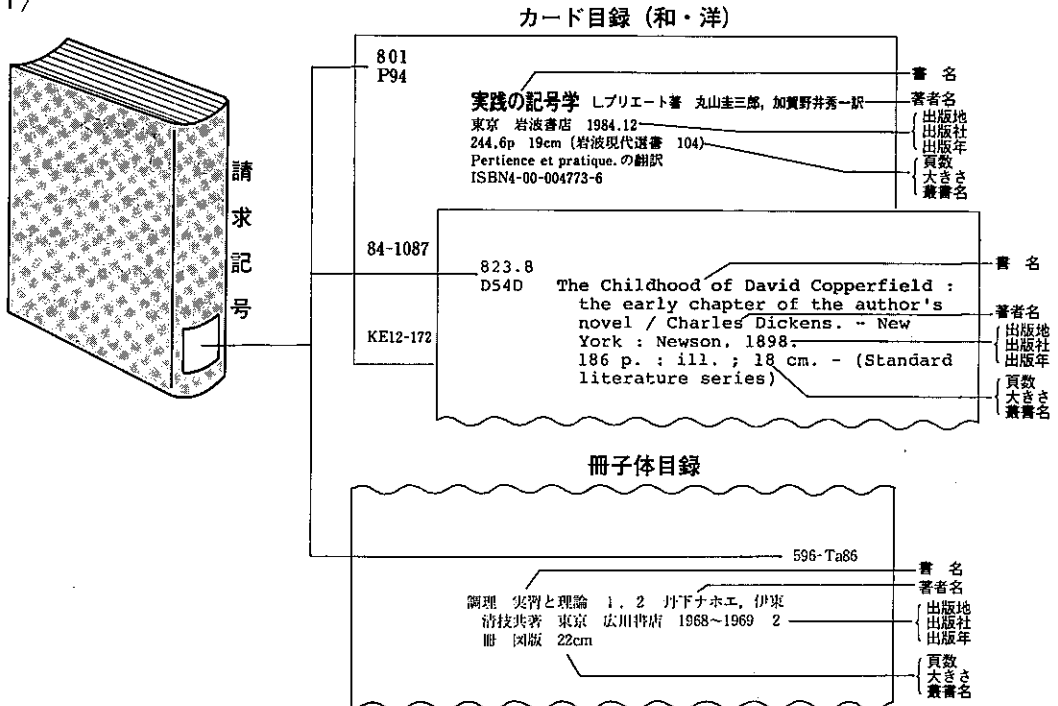
### 2. 書架へ行く

探している資料の所蔵がわかったら請求記号を見て下さい。資料は請求記号順に並んでいませんので、該当する書架へ行って下さい。資料が見つからない時は以下のことが考えられます。

- (1) 配架の乱れ
- (2) 閲覧もしくは貸出中
- (3) 収容スペースの都合で和図書は地下2階にもあります。こちらも探して下さい。

(1)の場合は、その前後を注意して下さい。それでも見つからない時は(2)に該当しますので、予約の用紙に記入してカウンターへ申し込んで下さい。予約者には資料が返却され次第掲示板でお知らせいたします。(但し、試験期等で予約扱いが出来ないこともあります。)(3)の地下2階にある主な資料は、個人全集、重複図書(利用頻度の高い資料は重複購入している場合があります。)、発行年の古い資料等です。不明な点はレファレンス係員にご質問下さい。

〈図1〉



## 短期大学図書館

### 増改築について

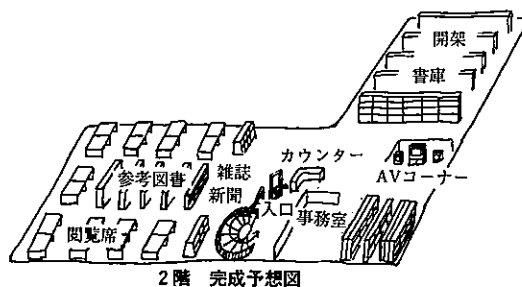
短期大学キャンパスでは、今年度中の完成を目指して3ヶ所で増改築工事が進められています。その内、最も規模が大きいのが図書館・研究室棟で、地下2階・地上3階延べ2,400㎡となります。図書館は、2階部分で現在の図書室とつながり、地下1、2階も含めて約1,500㎡の増築になります。

短大が日野に移転した14年前に比べ、利用者は3倍、蔵書は約5倍に増加し、閲覧席・書架共に限界を越え、又、新しいメディアや利用形態に対応できなくなったため、短大キャンパス全体の再編成の中で、図書館施設の拡充を画ることになりました。そして今回の計画では①入りやすく、②使いやすく、③図書館の発展や利用の変化に対応できる図書館の3つを念頭に置き検討してきました。

入り口を自動ドアとし、ブックディテクションにより自由に入退館できるようになります。

左手には、低目の雑誌架、参考図書コーナーと140席の閲覧室、右手には一般書架とAV施設を配置し、分かりやすいレイアウトと全体に明るい照明を取り入れています。AV施設は、グループ視聴室と5つの個人ブースを備え、カウンター周辺には情報検索等の機械化にも対応できるように準備を進めています。又、地下は、将来増加する図書資料の収容を目的として書庫スペースに予定しています。

この図書館・研究室棟は、平成2年3月に完成します。そのため、2月上旬から長期休館等の措置をとって、図書や什器備品類の移動・設置を行い、4月上旬に新装なった図書館を皆様の利用に供する予定です。どうぞご期待下さい。



### 図書館の仕事〈3〉

## 図書の分類

図書館で図書や雑誌、新聞などを整理して閲覧できるまでに、いくつかの作業があります。そのなかで、目録の記入、分類の決定、ラベルやブックポケットの貼付などが主なものですが、今回は分類について説明をしましょう。

多くの方は図書館資料が、日本十進分類法によって10区分され、その次に、網目ごとに細分化されているのを知っていることでしょう。

0 = 総記 1 = 哲学・宗教 2 = 歴史・地理  
3 = 社会科学 4 = 自然科学 5 = 科学技術・工業  
6 = 産業 7 = 芸術 8 = 言語 9 = 文学となっています。

大学図書館の資料検索の方法は、カード目録

による書名・著者・分類のほか、冊子体の目録があり、これの配列も分類によって行われています。また、1階から地下2階に至る資料も、分類によって配架されていますので、詳細な分類体系を知りたいときは、カード目録検索台の上にある『日本十進分類表』を開いて見る必要があります。細目を少し記しておきますので参考にしてください。

【細目例】 図書館設備012.8 衣食住の習俗383 食品衛生498.54 繊維工学586 繊維意匠586.74 澱粉588.2 醸造学・醸酵588.51 大和絵・絵巻物721.2 竹取物語913.31 英米文学作家論930.28

# ブック★ストック

## —蔵書ガイド—

今回の蔵書ガイドは、“オスカー・ワイルド特集”という事で、表紙にも記しましたが、『本間久雄文庫』の中のワイルド著作の図書を目録形式として、取り上げてみました。

**The Ballad of Reading gaol** / by C. 3. 3. [Oscar Wilde]. — London : Leonard Smithers, 1898. 31p. ; 23cm.

One of 800 copies printed on Dutch hand made paper watermarked Van Gelder, of a total edition of 830. First edition, published February 13, 1898 (828.8-W67B/1)

**Children in prison** : an other cruelties of prison life / [Oscar Wilde]. — London : Murdoch, 1898. 16p. ; 18cm.

[Reprint of : The Case of Warder Martin : some cruelties of prison life.] (828.8-W67Ch/1)

**The Duchess of Padua** : a tragedy of the sixteenth century / by Oscar Wilde. — New York : Privately Printed, [1905] 187p. ; 24cm. MASON : 587 (828.8-W67Du/1)

**Epigrams** / Oscar Wilde ; ill. by Fritz Kredel. — Mount Vernon : The Peter Pauper Press, [n. d.] 62p. : ill ; 19cm. (828.8-W67Ep/1)

**The Happy prince** / a tale from Oscar Wilde. — Herrin : Hal W. Trovillion, 1920. [48] p. ; 15cm. No. 22 of an edition limited to 120 numbered copies, privately printed by the Herrin News Press for Violet and Hal W. Trovillion. (828.8-W67H/4)

**The Importance of being earnest** : atrivial comedy for serious people / by The Author of Lady Windermere's fan — London : Leonard Smithers, 1899. 151p. ; 22cm.

No. 334 of this first edition limited to 1000 numbered copies only. (828.8-W67Im/1)

**Lady Windermere's fan** : a play about a good woman / by Oscar Wilde. — London : Elkin Mathews and John Lane, 1893. 132p. ; 22cm. First edition printed in 500 copies. (828.8-W67La/1)

**Poems** / by Oscar Wilde. — 1st ed. — London : David Bogue, 1881. ix, 236p. ; 20cm.

One of 250 copies. The first printing consisted of 750 copies, of which only 250 copies were used for this first edition.” (828.8-W67P/1)

**Ravenna** / by Oscar Wilde. — Oxford : Thos. Shrimpton, 1878. 16p. ; 18cm.

“Newdigate prize poem.” “Recited in the theatre, Oxford, June 26, 1878.” (828.8-W67R/1)

**Salomé** : drame en une acts / Oscar Wilde. — Paris : Librairie de l'Art Indépendant, 1893. 84p. ; 21cm. First French edition. (828.8-W67S/1)

**Vera** : or, **The Nihilists** / by Oscar Wilde. — [n. d.] : Privately Printed, 1902. 75p. ; 23cm.

“A drama in a prologue, and four acts.” No. 67 of an edition limited to 200 numbered copies “for private circulation” only. (828.8-W67V/1)

**A Woman of no importance** / by Oscar Wilde. — London : John Lane at the Sign of the Bodley Head, 1894. 154p. ; 22cm.

First edition, of which 500 copies were printed. (828.8-W67W/1)

**After Reading** : letters of Oscar Wilde to Robert Ross. — Westminster : Cyril William Beaumont, 1921. 59p. ; 23cm.

A book of letters written at Berneval from Oscar Wilde to Robert Ross. The cover and decorations designed and cut on wood by Etherlbert White. (828.8-W67Xa/1)

**After Berneval** : letters of Oscar Wilde to Robert Ross. — Westminster : Cyril William Beaumont, 1922. 65p. : plate, facsim. ; 23cm.

A book of letters written at Naples and Paris from Oscar Wilde to Robert Ross. The cover and decorations designed by Randolph Schwabe. (828.8-W67Xa/2)

# Library Mail

## — 収書 ガイド —

今年度の収集方針の一つに現代英米文学をあげています。

**Blade runner** : do androids dream of electric sheep / Philip K. Dick. — New York : Ballantine, 1988, c1968. 216p. ; 18cm. ハリソン・フォード主演映画の原作。(813.54-D54B)

**The Cider house rules** : a novel / John Irving. — New York : William Morrow. c1985. 560p. ; 25cm. 巷で話題のジョン・アーヴィング。

(813.54-Ir7C)

**Fever** / Robin Cook. — New York : Signet, c1982. 312p. ; 18cm. 現代医学界を扱った小説を多数発表している作家。(813.54-C77F)

**Strong medicine** / Arthur Hailey. — New York : Dell, 1986, c1984. 445p. ; 18cm. ご存じ現代米文学の大御所アーサー・ヘイリー。

(813.54-H15S)

**The Talisman** / Stephen King [and] Peter Straub. — Middlesex : Viking, 1984. 644p. ; 25cm. キング得意のホラーではなく、ルーカスやスピルバーグの映画を見ているかのような感じを与える、文句なく楽しめる作品。(813.54-K54T)  
**アメリカ文学と時代変貌** 浜野成生編 (研究社出版 1989) 主としてロマンチズム抬頭の19世紀半ばからこんにちに至る文学的潮流を、時代——すなわち政治、産業、社会、移民、地域的特色をも含めた、時空を総合しての時代——という観点からおもいきって捉えなおしてはどうか、という編者の考えから発して執筆された学際的文学研究書である。(930.29-H25)

**真夜中の子供たち** サルマン・ラシュデイ著 寺門泰彦訳 (早川書房 1989 2冊) インド現代史を背景にした、三代にわたる一族物語である。本書はブッカー賞をはじめとする三つの文学賞を受賞している。(933-R95)

**なにかが起こった** ジョーゼフ・ヘラー著 篠原慎訳 (角川書店 1983 2冊) 1961年アメリカで一大ベストセラーとなった『キャッチャー22』の作家の長編第2作である。善意の凡人が

経験する苦しみと失望の物語である。

(933-H47)

**ラヴ・ストーリーズ** チップス&ヘンダーソン編 飛田茂雄ほか訳 (早川書房 1989 3冊) レイモンド・カーヴァー、アン・タイラー等第一線のアメリカ作家たちが贈る現在進行形のラブストーリー。短篇集。(933-R11)

**ウォーターメソッドマン** ジョン・アーヴィング著 川本三郎ほか訳 (国書刊行会 1989 2冊) 大人になろうとして大人になりきれない主人公フレッド・トランパー、妻や友人たちからは「ホーガス」(ほら吹き)と呼ばれている男がなんとか大人になろうと悪戦苦闘するコミカルな青春小説。(933-Ir7)



# ❀❀❀いんふお-め-しょん❀❀❀

1989年11月～1990年3月

## 大学図書館

### 休館日

11/9(木)～11/11(土) 常磐祭  
 12/7(木) 書庫整理  
 12/26(火)～1/4(木)・10(水) 冬期休業による  
 2/7(木)～2/11(日) 入学試験のため  
 2/17(土)、2/24(土)  
 2/26(月)以後は蔵書点検並び書籍の書庫内移動のためほぼ休館の予定であります。

### 冬休み特別貸出

期間：12/14(木)～1/12(金)  
 冊数：5冊

### 冬休み中の開館

開館日：12/21(木)・22(金)・25(月)  
 1/5(金)～1/9(金) (日曜日は除く)  
 開館時間：9:00～16:00

### 試験期の貸出

1/5(金)～1/12(金)：1週間貸出  
 1/13(土)～2/1(木)：1日貸出

### 家政系卒論・修論作成者対象特別貸出

期間：12/1(金)～1/31(水)  
 冊数：10冊

### 春休み特別貸出

(未定です)

## お願い (卒業生のみなさんへ)

毎年の事ですが、4月になっても返却されない図書が、何冊もあります。

みなさんが利用した図書は、後輩の人達も利用する事を忘れないでください。

卒業する迄に、未返却の図書があるかどうか、もう一度確認して下さい。

## 編集後記

今号は、ワイルドの特集(?)を組んでみました。あれもこれも入れたいと考えながら、ページ数の少なさに、まとまらず反省しています。

(M.F)

## 短期大学図書館

### 休館日

11/10(金)・11(土) 常磐祭  
 12/6(木) 書庫整理 12/23(土)～1/10(水) 冬期休業中(増築工事のため)  
 2/3(土)～4/5(木) 増改築工事と開館準備のため

### 冬休み特別貸出

期間：12/14(木)～1/12(金)  
 冊数：5冊

### 冬休み中の開館

開館日 12/21(木)・22(金) 補講期間のみ  
 開館時間 9:00～16:00

### 試験期の開館

月～金 9:00～17:45 (開館時間を延長)  
 土 9:00～16:00  
 2/1(木)・2(金) 9:00～17:00

### 試験期の貸出

1/11(木)・12(金)・13(土) → すべて16(火)返却  
 1/16(火)～31(水) → 1日貸出 翌日午前中に返却

### 春休み特別貸出

受付：2/1(木)・2(金)  
 返却日：4/11(水)  
 冊数：5冊

※冬期・春期休業中は増改築工事に伴う作業等が予定されており、図書館への立入りができなくなりますのでご了承ください。

4月開館にむけて準備を進めておりますので御協力お願いいたします。

## Library Mate 第3号 1989年11月

発行所 実践女子大学図書館  
 東京都日野市大坂上4-1-1  
 実践女子大学図書館短期大学分室  
 東京都日野市神明1-13-1  
 発行責任者 宮澤文雄